

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO, M-102	Year Month Day Time 2009 年 5 月 3 日 10 : 30
場所 Place	能代市総合体育館



チームA 延岡学園 100 ○	<table border="1"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>9</td></tr> <tr><td>20</td><td>2nd</td><td>24</td></tr> <tr><td>33</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>25</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	24	1st	9	20	2nd	24	33	3rd	10	23	4th	25	OT			チームB 新潟商 68 ●
24	1st	9															
20	2nd	24															
33	3rd	10															
23	4th	25															
OT																	

主審:Referee
北沢 岳夫 宮城県
副審:Umpire
柘屋 章 秋田県

テーブルオフィシャル:Table officials
能代工業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	横瀬 孝樹	CAP	17	0	8	1	2	4	×	小野寺 弘晃	CAP	9	1	3	0	5
5	×	エリマン プイ		20	0	10	0	2	5	×	新保 寛人		11	2	2	1	3
6	×	長谷場 祐二		6	0	2	2	4	6	×	田村 亮		8	0	3	2	4
7	×	永吉 佑也		21	1	6	6	1	7	/	青山 充		0	0	0	0	0
8	×	川元 崇史		10	0	2	6	2	8	/	佐藤 寛人		0	0	0	0	0
9	/	宇治橋 真悟		4	0	1	2	1	9	×	中村 博		5	1	1	0	4
10	/	中小路 拓		2	0	1	0	2	10	/	荻野 晃平		0	0	0	0	0
11	/	寺原 庸太		0	0	0	0	2	11	/	亀山 亮		0	0	0	0	2
12	/	石田 慎太郎		0	0	0	0	0	12	/	小林 力		2	0	0	2	0
13	/	善家 耕太郎		0	0	0	0	0	13	×	岩淵 俊紀		12	0	4	4	3
14	/	中村 友哉		4	0	2	0	0	14	/	鳥越 皓幾		0	0	0	0	0
15	/	黒木 亮		4	0	2	0	1	15	/	村越 俊紀		0	0	0	0	0
16	/	岩田 大輝		0	0	0	0	1	16	/	小林 裕太郎		19	0	8	3	3
17	/	寺原 拓史		0	0	0	0	1	17	/	鶴巻 拓哉		2	0	1	0	0
18	/	岡本 飛竜		12	0	5	2	1	18	/	田宮 開		0	0	0	0	0
コーチ		北郷 純一郎							コーチ		中屋 廣昭						
アコーチ		内村 昌弘							アコーチ		丹波 浩之						
合計				100	1	39	19	20	合計				68	4	22	12	24

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、序盤、延岡は#7永吉のドライブ、#5プイのインサイドを中心に全員がバランスよく得点を重ねる。対する新潟は積極的なドライブから延岡のディフェンスに挑むが、高さに阻まれ思うように得点を伸ばすことが出来ない。その後も延岡は#7永吉、#5プイがオフェンスリバウンドで活躍し、ゴール下での得点を重ねる。新潟は#9中村がブザービーターとなるジャンプシュートを決めるも、24-9と延岡リードで1Q終了。

第2Q、新潟はオールコートマンツーマンを仕掛け、厳しいディフェンスから#5新保の3Pや速攻などで点差を縮める。対する延岡は1Q同様#5プイ、#7永吉がオフェンスリバウンドを支配し、インサイドで得点を重ねる。新潟はリバウンドで苦戦するものの#9中村、#13岩淵が激しいディフェンスから立て続けにスティールし、速攻につなげる。両校が特色を出しながら一進一退の攻防が続き、44-33で前半を終了する。

第3Q、延岡は2-2-1プレスでガード陣がプレッシャーを強め、#4横瀬、#6長谷場のスティールから速攻を決め、主導権を握る。対する新潟はプレスをかいくぐっての速攻から#16小林が得点を重ねる。しかし、延岡は#14中村の3P、#8川元のジャンプシュートやドライブで着実に得点を伸ばし、77-43で3Qを終了する。

第4Q、新潟は#13岩淵のスティールからの速攻や#16小林のバスケットカウントを含むインサイドプレーで反撃するが、延岡も#18岡本の3Pやスティールからの速攻を決めるなどして応戦する。新潟は#16小林のドライブから#17神津がジャンプシュートを決めるなど粘り強く攻め続けるが、延岡も#15黒木のインサイドや#18岡本のジャンプシュートなどで得点を重ね、結局100-68で延岡が勝利した。